【草花の部屋】

アヤメ（アヤメ科アヤメ属　Iris sanguinea ）

和名：アヤメ（菖蒲、文目、綾目）　別名：かっこう花

英名：Siberian iris

キジカクシ目　多年草　　原産地：日本、アジア、シベリア

花言葉：よい便り、メッセージ、希望　　花の色：紫、白

←↘ 写真-１、２ アヤメ
撮影日：2014 年 06 月 24 日
撮影場所：フェアバンクス
（アラスカ）にて
撮影者：M　さん

フェアバンクス郊外のレストランでの昼食後、レストランの庭を散策中に見かけました。遠目にもアヤメと解りましたが、アラスカでも見られるのだ、と感激。

アヤメは多くが山野の草地に自生し、他のアヤメ属の種であるノハナショウブやカキツバタのように湿地に生えることは稀。葉は直立し高さ 40～60cm 程度で、5 月頃に茎先に花径 5～8 センチくらいの花を 1～3 輪くらいつけます。

内花被片と外花被片が 3 枚ずつあり、外花被片（前面に垂れ下がった花びら）には網目模様があるのが特徴で、本種の和名の元になっています。

古くは「あやめ」の名はサトイモ科のショウブ(アヤメグサ)を指した語で、現在のアヤメは「はなあやめ」と呼ばれたそうです。アヤメ類の総称として、厳密なアヤメ以外の種別にあたる、ハナショウブやカキツバタを、アヤメと呼称する習慣が一般的

に広まっているそうです。

＜ちょっと一言＞

＊アヤメ、カキツバタ、ハナショウブの見分け方

アヤメ：外側の花弁に網目模様がある
乾いた所に育つ
カキツバタ：外側の花弁に網目模様なし
外側の花弁に白い斑紋がある
水中や湿った所に育つ
ハナショウブ：外側の花弁に網目模様なし
外側の花弁に黄色い斑紋がある
湿った所に育つ

＊アヤメ類の総称としてハナショウブをアヤメと呼ぶことも多く、間違いにはあたらないそうです。